

サーサナ

第45号 仏暦2562（西暦2019）年7月9日

インド仏跡巡拝の報告（2）

ラージギルを後にして、次に向ったのはナーランダです。この地のナーランダ大学は427年に設立された世界最古の大学であり、世界遺産にも指定されています。大学、といっても仏教大学です。最盛期には1万人以上の学生と1500人の教師が共同生活しながら講義がなされていました。かの玄奘三蔵法師もここに留学していました。1193年に、イスラム勢力の侵攻により破壊されてしまいましたが、その堂々たる威容は、広大な遺跡から想像することができます。

ナーランダの次には、今回の旅の最大の目的地ブッダガヤです。ここは釈尊成道の地として、世界中から多くの仏教徒が集結し、世界遺産である大菩提寺を中心として、その周辺に日本、中国、スリランカ、タイ、チベット、ミャンマー、ベトナム、バングラデシュなど各国の寺院がそれぞれの様式で薨を競っています。まさに「お寺のテーマパーク」。ここには2泊3日滞在しました。10年前と比べると、街の交通量、店、人口が増えており、騒がしくなっていました。また2013年のテロ事件のためにセキュリティチェックが厳しくなったことはしかたないことです。しかしながら、大菩提寺境内では、100人を超える韓国人の浄土系新興宗教団体が一角を陣取り、境内をぐるりと「佛」と染め抜いた幟で囲い、大音量のスピーカーでのべつまくなしに読経していたのには閉口しました。読経のみならず、アリラン（朝鮮半島の民謡）まで歌っていたのには、首を傾げたくなりました。大菩提寺には各国・各宗派の仏教徒が、それぞれの方法で読経したり、祈ったり、瞑想したり、さまざまに宗教行為をしています。そしてお互いに邪魔にならぬように配慮しているわけです。彼らにはそういう配慮が欠けていたことがとても残念です。

本来なら、「スピーカーは禁止」「幟は禁止」であってしかるべきなのですが、ここを管理している委員会は実質上ヒンズー教徒によって牛耳られていて、仏教徒の意見が通りにくくなっています。この件については、別の機会に書いてみたいと思いますが、いずれにせよ、多くの仏教徒はこの現状を嘆いていると思います。

ブッダガヤからはまた夜行列車でコルカタまで移動しました（4時間遅れはインドでは普通のことですが、さすがに深夜3時までプラットフォームで待ち続けるのは辛い）。ほとんど一睡もできずにコルカタに到着。聞きしに勝る交通渋滞、喧噪、空

気汚染ですが、街のあちこちに残るイギリス植民地時代の建築物で、どこどなく欧州の風を感じさせます。コルカタは仏跡ではありませんが、ここにあるインド博物館はアジア最大級とのことですので、立ち寄りたかったのです。圧巻は仏塔を囲むバールフットの欄楯浮彫ですが、それ以外にも、ガンダーラ仏の一群は見事でした。展示を順におって行くと、様式が複雑化するとともに仏教自体が密教化していく有様が見て取れます。

今回は、私の還暦を記念してのインド行きでした。インドでの仏教復興は着実に広がっている様子です。復興したすがたをいつかまた見ることができれば、と希望しています。（終）

法要行事のご案内

各法要・行事に必要な勤行本は、お持ちでない場合は当寺より進呈または貸与いたします。念珠は必ずご持参ください。また肩衣の着用を推奨します。



八月 盂蘭盆会（うらぼんえ、お盆）

もともとは、釈尊の弟子の目連尊者が、餓鬼道に堕ちた母を救うために、安居（集中講義）の終わる7月15日に、大勢の出家僧侶に飲食物の供養を行なったことに由来する行事です。

- ❖日時 8月13日（火）午前8時～9時
- ❖内容 勤行（和訳阿弥陀経、正信偈同朋奉讃）、法話（住職）
- ❖持ち物 勤行本（『抄訳佛説阿弥陀経』『正信偈同朋奉讃』）
- ❖記念施本 酒井大岳『正しい生活』（仏教伝道協会）

盂蘭盆会について個別（家族単位）でのお勤めを御希望の場合は、次のいずれかにより予約して下さい。

1. 本堂でのお勤め

8月14日午前8時より正午まで、15分刻みで御希望の時間を指定していただきます。先着順です。十六家族様まで。

2. 自宅の御内仏前でのお勤め

(1)13日午後 (2)13日夜 (3)14日午後 (4)14日夜 (5)15日午前 (6)15日午後
のいずれかの時間枠をご指定下さい。午前とは8時から12時まで、午後とは1時から4時まで、夜とは5時から8時までをいいます。これ以外の日時は応相談。

九月 秋彼岸会

彼岸とは、覚りの世界＝涅槃のことです。これに対して、私たちが暮らす現実世界を此岸といい、此岸から彼岸に渡るのが「波羅蜜（はらみつ）」です。

- ❖日 時 9月20日（金）午後2時～4時
- ❖内 容 勤行（観無量寿経訓読、正信偈）、法話
- ❖持ち物 勤行本『真宗法要聖典』、念珠
- ❖法 話 当寺住職
- ❖記念施本 小山一行『正しい努力』（仏教伝道協会）

十月 報恩講（ほうおんこう）

報恩講とは、浄土真宗の宗祖・親鸞聖人（1173-1262）の御命日にあたり、宗祖への報恩謝徳をあらわす法要です。浄土真宗では最も重要な法要で、「お仏事」といえば報恩講のことをいいます。

- ❖日 時 10月29日（火）午前10時～午後3時

❖内 容

午前：勤行（文類偈・念仏讃・回向）、
御俗姓拝読、および法話

おとぎ（昼食）

午後：勤行（正信偈・念仏讃・回向）、
および法話

- ❖持ち物 勤行本『報恩講勤行テキスト』、
念珠
- ❖法 話 前田和丸師（一心寺住職）
- ❖記念施本 法語カレンダー（真宗教団連合）
教化施本ほか



十一月 本山報恩講参拝ツアー

本山・東本願寺では報恩講が11月21日から28日にかけて厳修されます。

当寺では26日午前の日中法要に団体参拝いたしますので、参加者を募ります。はじめての方もお気軽に。

昼食は、京都東急ホテルの京料理「たん熊北店」にて。午後は、真宗仏光寺派本山の仏光寺、および新撰組ゆかりの壬生寺を参拝します。

- ❖日 程 11月26日（火）日帰り
- ❖交 通 全行程をジャンボタクシーで移動します
- ❖行 程 7:30 教心寺出発
9:30 本山参拝（法要・ギャラリー見学）→ 12:00 昼食
→14:00 東寺 → 14:30 泉涌寺 → 19:00 教心寺帰着
- ❖費 用 17,000円
（当日お支払い下さい）
- ❖申込み 電話・メール・FAXなどにより
お申し込み下さい。
先着8名様まで。
- ❖参加者が6名に満たない場合、催行中止としますので、予めご了承下さい。

永代経懇志お礼

下記の方々から永代経懇志を頂戴いたしました。ここにあらためてお礼申し上げますと共に、今後とも法義相續されますことを願いたします。

4月10日 釋尼華慧・釋成願彩直（願主・小板橋様[天白区]20万円）

帰敬式受式おめでとうございます

6月28日、下記の2名が、当寺第11回帰敬式を受式され、法名授与されました。今後とも、仏法聴聞・仏道精進されますことを願いたします。

釋正覺 釋尼勝友

おみがき奉仕

- ❖10月12日（土）午前9時～（汚れてもよい服装でおいでください。）

真宗大谷派 教心寺（名古屋教区第30組）

編集発行人 釋眞式（山口眞一）

468-0026 名古屋市天白区土原3丁目205番地

電話：801-1381 F A X：807-1198 電子メール：kyosin@nagoya30.net

URL <http://www.nagoya30.net/temple/kyosin/>